



資料館だより

No.18
2008年
5月号

過去と未来がひびきあう

ようこそ、エコミューズへ

www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら
財団付属

西淀川・公害と環境資料館

エコミューズ

3月末の目標50万円達成 ハモン基金 感謝のご報告

エコミューズの活動資金「ハモン基金」を設置し、2007年12月からみなさまにご協力を呼びかけてきました。まずは西淀川公害の展示パネルを作成したいと「2008年3月末までに50万円」という目標をかかげました。おかげさまで50万1,760円の寄付が集まりました。また、資料整理のためとして、別途100万円の寄付もいただきました。みなさまどうもありがとうございました。今後は8月の完成に向けて展示の作成にはげみます。

エコミューズでは、展示のほか、ガイドブックや教材の作成、映像資料の整理、地域学習のための講座開催など、これまでも活動を発展させていきたいと思っています。引き続き、ハモン基金へのご協力をよろしくお願いいたします。寄付の方法は裏面「お知らせ」欄をご覧ください。



エコミューズの資料が活躍しています

『西淀川公害を語る』

西淀川公害訴訟をリードしてきた森脇君雄あおぞら財団理事長が語り部となった『西淀川公害を語る』が今春出版されました。



書籍を手にする森脇理事長

裁判はとっつきにくいテーマですが、これまで公開されてこなかった裁判解決の裏話などが盛り込まれており、人間ドラマとしても読める読みごたえのある一冊です。

エコミューズで整理してきた資料たちも登場します。本のお役に立ててとてもうれしいです。

ぜひ、皆様もお読みください。あおぞら財団で購入可能です。

『西淀川公害を語る 公害と闘い環境再生をめざして』
2008年3月20日 / 著者 西淀川公害患者と家族の会
編集協力 米田憲司 / 発行 本の泉社 / 定価 1890円 (税込み)

- 序章 あおぞら苑開設
- 第1章 公害患者との出会い
- 第2章 公外企業の進出
- 第3章 西淀川の歴史と高度成長時代
- 第4章 患者会の結成と公健法制定
- 第5章 企業10社と国、道路公団を提訴
- 第6章 臨調行革と公健法改悪とのたたかい
- 第7章 裁判長期化と広がる支援
- 第8章 大阪地裁判決と企業との和解
- 第9章 国、阪神高速道路公団と和解
- 第10章 新生 西淀川をめざして

第2回エコミューズ運営協議会 開催

3月25日、第2回エコミューズ運営協議会を開催しました。2006年3月にオープンして早いもので丸2年が経過しました。この間、大学のゼミの研修など団体の受入が増加していること、ハモン基金を新たに設置して、寄付集めをしていることなどが報告されました。

現在の運営協議会のメンバーには今後も引き続き委員として協力いただくことを確認しました。



ボランティア募集 データの宝庫 新聞スクラップづくり

新聞スクラップ。これからファイルングします



あおぞら財団では活動を開始して以来、公害・環境問題に関する記事のスクラップをおこなっています。交通問題や環境学習など、55種の分野別にファイルングしています。今後はこうしたスクラップブックをエコミューズで利用者の方に閲覧できるように整理していきたいと思っています。

そこで、新聞記事のスクラップと整理作業をボランティアでお手伝いしていただける人を探しています。作業を通じて、さまざまな記事に触れることができます。興味のある方はエコミューズまでご連絡ください。

所蔵資料紹介

17 開架資料



ソラダスの2006年調査報告書。測定値のレベルが色分けされています。環境学習の場となりました。

測定は愛称ソラダスと呼ばれ、1984年、1989年、1994年、2000年、2006年とこれまで6回行われています。科学データを住民の手でつくるのが、公害を起こさせない抑止力となっていることを示す活動です。(林)

ソラダスで 大気汚染を測ろう

大阪NO₂簡易測定運動調査報告書

大気汚染を自分たちで測るなんて無理と思いませんか？ 実は、自分たちで簡単に測ることができます。

大気汚染の簡易測定運動の歴史は古く、1970年頃からありますが、1972年に天谷和夫氏考案の天谷式カプセル(小型捕集管によるろ紙法の二酸化窒素測定法)が生まれ、やすくて簡単のために二酸化窒素測定運動が飛躍的に広がりました。

大阪では1978年に第1回簡易測定運動が取り組まれました。大阪市内500メートル、府下1キロメートルのメッシュに区切って測定し、府域の濃度分布図を作成しました。多数の住民が参加した一斉調査であり、国や自治体が行っている少数の測定局データでは把握できない地域の汚染を明らかにしたこと、住民の手で測定することから、大気汚染について学習する機会を増えることや、実際に具体的なまちづくりのためのデータを住民の手で作り出すことから、まちづくりの主体を養成する



こんにちは新着図書です

飯島伸子、渡辺伸一、藤川賢著 『公害被害放置の社会学 イタイイタイ病・カドミウム問題の歴史と現在』 東信堂、2007年



「放置」という言葉がまず目に飛び込んできます。1999年以来おこなわれた富山県神通川流域、群馬県安中、長崎県対馬などでの事例について、被害者や行政関係者、弁護士、医師など100名以上への聞き取り調査をもとにまとめられています。本書には「現実の被害から目を背けることは加害側に利用され、被害を拡大させかねない。"だからこそ"現実の被害者の存在に関心を持ち続けることが必要」という姿勢が貫かれています。

大阪社会労働運動史編集委員会

大阪社会労働運動史(第8巻)『転換期』有斐閣、1999年
同書第6巻、第7巻とともに(財)大阪社会運動協会より寄贈を受けました。対象とする期間はおおよそ1985年から1990年。第5章「社会運動の諸相」の第2節「環境保全と食の安全」に西淀川公害訴訟が取り上げられています。



公害健康被害補償法の改定による、大気汚染指定地域の解除、地球環境問題への高まる関心といった時代背景の中、西淀川大気汚染公害とそれに続く地域再生運動について記述されています。

これらの図書はエコミューズにて閲覧、貸出をしています。みなさまからの図書のご寄贈お待ちしております。

★お知らせ★
エコミューズ活動資金
ハモン基金
寄付協力をお願い

ハモン基金とは
エコミューズの活動を継続的かつ発展的にすすめていくための活動資金です。西淀川公害に関する展示物やガイドブックの作成、企画展の開催、資料の収集と整理、資料の保存や閲覧環境の整備のために使います。一人ひとりの気持ちに波紋のように広がることを願って...

エコミューズを支えてください。あなたの寄付金は青空へとつながります。

寄付の方法
郵便局からお振込みいただけます。また、直接エコミューズにお越しただいても結構です。

〒100 十万円 / 一万円 / 千円
口座番号) 00960191
124893

加入者名) あおぞら財団
通信欄に「ハモン基金への寄付」とご記入ください
一口の金額はお選びください

寄付者のお名前は報告書やホームページ等に記載させていただきます。ご都合の悪い方はその旨ご連絡ください。

ボランティア隊
「エコミューズ」募集
あなたも「エコミューズ」に入っちゃおう！ 資料整理や展示、イベントの手伝いなど活躍の場がいっぱいです。
交通費 実費支給(上限2000円)
どうぞお気軽にお問い合わせください。

西淀川 私の発見 まめ情報

「菜の花」

西淀川は昔は農漁村でした。福漁港はその名残ですね。かつて栽培していた菜の花を復活！というわけで、あおぞら財団の屋上と西淀川高校で菜の花を栽培しています。菜の花は菜種油となり、天ぷら後に車の燃料に再生される予定です。みなさんも菜の花プロジェクトに参加しませんか？(ト)



きれいに咲いた屋上の菜の花

資料館だより No.18
2008年5月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属
西淀川 公害と環境資料館
(エコミューズ)

連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル5F(〒555-0013)
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
http://www.aozora.or.jp/shiryou/



エコミューズは 青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害 環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材、ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください

開館 月曜日、金曜日(祝日は休み)
10:00AM ~ 5:00PM [要予約]

利用 図書の貸し出し期限は2週間
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ